

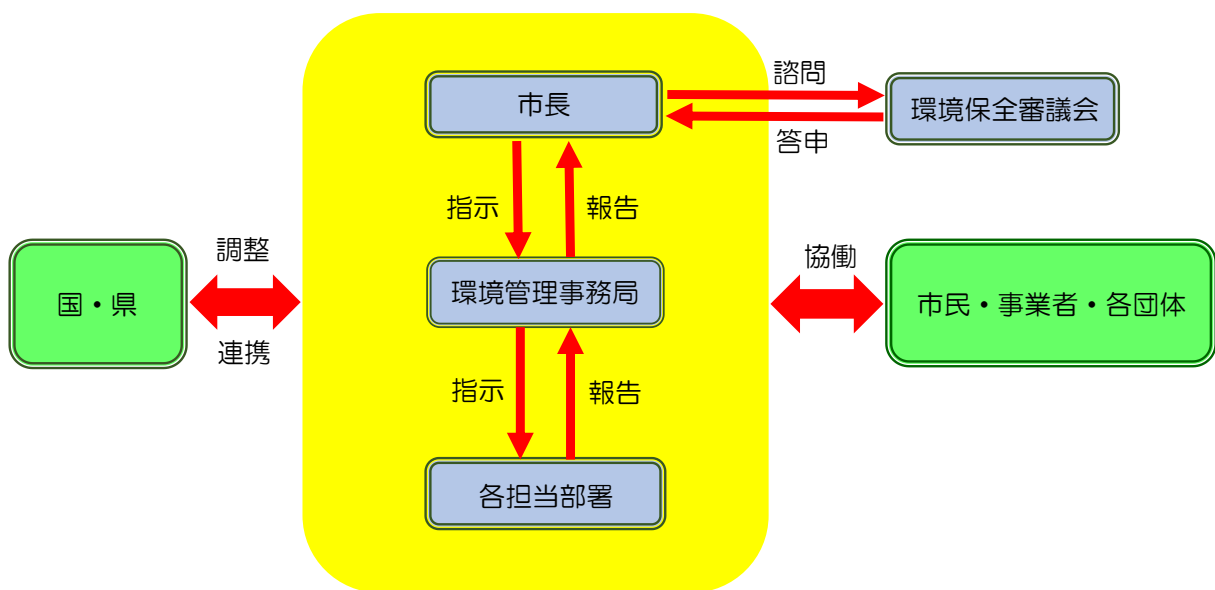
第7章 計画の推進

第1節 推進体制

環境基本計画の目的は、計画に盛り込まれた施策を実行し、本市にとって望ましい環境像を実現することです。

そのためには、市民・事業者・市等が共通の認識を持ち、それぞれの役割と責任を担い、相互の連携と協力により、目的達成のための努力を続けることが大切となります。

このため、各主体のパートナーシップを基礎とした協働により、より強力に計画が推進されるような体制の構築を目指します。



◆◆環境基本計画の推進体制図◆◆

【指宿市環境保全審議会】

指宿市環境保全審議会（以下、「審議会」という。）は、市長の諮問に応じ、環境保全に関する基本的事項について調査審議し、意見を述べます。

市長は、審議会に対して、環境基本計画の策定及びその変更に関する諮問を行うとともに、審議会からの答申を受けて、計画の推進に努めて参ります。

第2節 周知方法

環境基本計画に基づく市民・事業者等の自主的な環境保全活動が継続的に実践されるよう、次のように計画の周知を図って参ります。

計画書の配布

環境基本計画書を関係機関や公共機関等に置き、誰でも、いつでも見ることができるようにします。

各種イベントの開催

市民・事業者の皆様を対象とした環境フォーラム等のイベントを開催し、計画の周知や推進のための啓発を行います。

市のホームページや広報紙への掲載

市のホームページを活用して環境基本計画の情報を提供し、広報紙を通じて計画の進捗状況をお知らせします。



池田湖でのイベントの様子

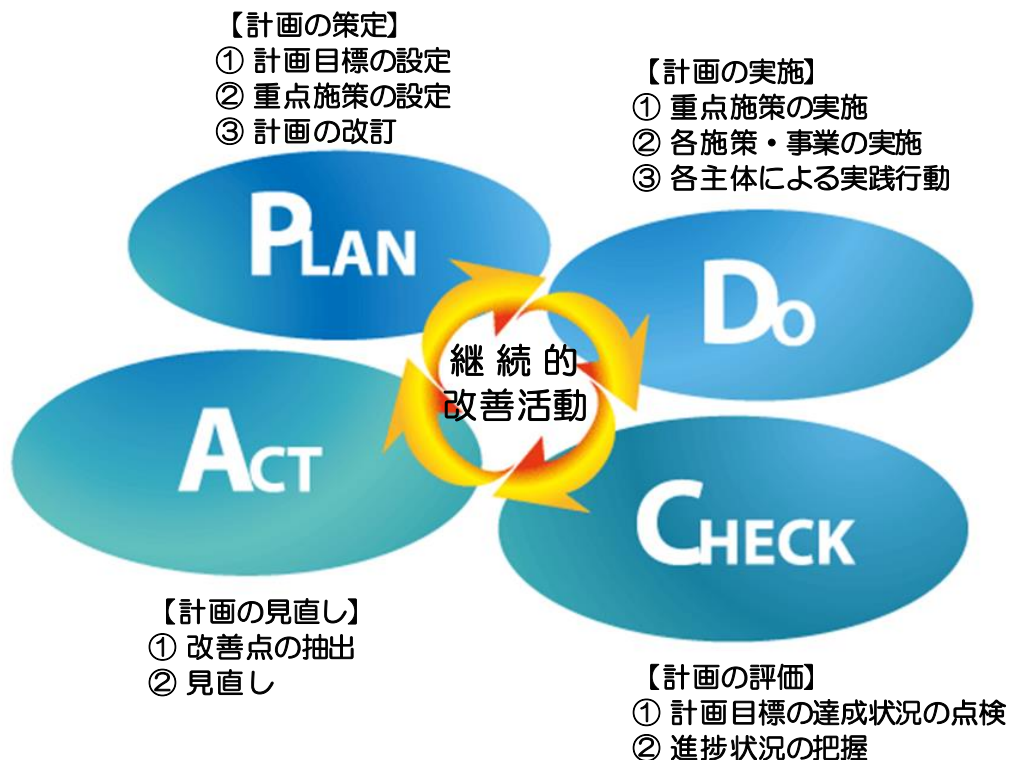


広報いぶすき

第3節 進捗管理

環境基本計画の実行性を確保していくために、実施状況を確認し、計画の進捗状況を適切に管理し、これを広く市民の皆様公表するとともに、改善すべき点があれば、柔軟に見直しを行いながら進めて参ります。

本計画を着実に推進するため、本計画（Plan）に対して、実施状況（Do）を点検・評価（Check）し、見直す（Act）という PDCA サイクルを回しながら、継続的な改善を図りながら進捗管理を行います。



◆◆ PDCAサイクル ◆◆

第4節 財政措置

市は、この計画に掲げる施策を実施するために、必要な財政上の措置及びその他の措置を講じます。計画の進捗状況、環境の状況等を勘案するとともに、施策が総合的・計画的に推進するよう適切に対処して参ります。

第5節 見直し

速やかな対応が必要な新たな課題や、社会経済情勢及び環境をめぐる状況の変化等に柔軟かつ適切に対応するため、必要に応じて計画の見直しを行います。

